

## 第15回 神戸女学院大学 絵本翻訳コンクール 優良賞

富士見丘高等学校 2年 松原翠訳

### アーノルドのしま

あるところにアーノルドというふねにのるのがだいすきなぞうがいました。

アーノルドは、ふねとおなじくらいみもたいせつなともだちだとおもっていました。しかしこのひのうみはごきげんななめ。おおきななみがアーノルドのたいせつなふねをこわしてしまいました。

よかった、アーノルドはながいはなのおかげでおぼれずにすんだようです。

ずいぶんとじかんがながれ、アーノルドはちいさなひとつのしまにたどりつきました。

ひろいうみをみたアーノルドは、むかしのふなのりさんがのこしたことばをおもいだしたのです。

“ひろいひろいものすごくひろいうみで、ぼくは、ぼくは、ほんとうにひとりぼっちだ！”

しかし、アーノルドはすでにりっぱならっぱをもっています。アーノルドはおもいきりじぶんのはなをふきなりました。“そのきよく、なんていうの” そのおとをきいたおさかながたずねてきました。

“【たすけて】というきよくさ。ぼくはいまたすけをもとめているんだ。” アーノルドはこたえました。けれどいくらまってもたすけはやってきません。

アーノルドはがっかりして、しまにこしかけました。そのとき、なくしたとおもっていたちいさなぼうしがながれてきました。おや？

かぶってあたりをみまわしてみたら、あ！ちいさなふねがこちらにむかってやってきているではありませんか！

ちいさなふねはねずみのふねでした。

ついにたすかったぞ！

...うまくやったつもりでした。

さすがアーノルドはふなのり、ひものむすびかたはたくさんしています。

しばらくして、いぬのおじいさんをのせたふねがやってきました！

こんどはそーっと...

あちゃー...またうまくいかなかった。

すこしてつだってもらって、しまをおおきくすることにしました。

つぎのあさ、つりぶねがぜんそくりよくでちかづいてくるではありませんか！

がしゃーん！ふねはとまることができなかったようです。

よかった、みんなぶじでした。

アーノルドはみんなのふねをぜんぶつかって、さらにしまをおおきくしました。

そのよる、しろいつきのひかりでみんなおどりました。

そしてよがあけるまでいっしょにくじらのうたをうたいました。

すてきなうたはすぐにひろまるものです。

みんなうたをききたくて、しまにあそびにやってきました。

アーノルドはみんなのことをよるこんでむかえました。“みんながくるたびにひとつずつへやがふえていくよ！！”

しかしあるひのこと、そらがとてもくらくらになりはじめ、おまけにかぜもビュービューふきだしました。またうみがごきげんななめに...

みんな、アーノルドをみました。

もうそろそろいえにかえるころじゃない？

“ちょっとだけまって”アーノルドはいいました。“よいかんがえがあるんだ。”